

1-1

就職情報の提供・募集は多様な方法が必要

(1) 採用したい人材に合わせた募集方法

高度外国人材に対するアンケート調査では、日本企業に就職しようとする際に役立った媒体は、1位が「個々の会社のホームページ（日本語）」、2位が「就職情報サイト」、3位が「日本国内で行われた個々の会社が行う会社説明会」となっています。（図表1）

募集対象となる高度外国人材は、主に、日本の大学からの新卒採用（留学生）、海外大学からの新卒採用、キャリア採用に分けられます。留学生の採用が一般的ですが、優秀な人材を獲得するため、海外大学から新卒を採用する動きも見られるようになってきました。

高度外国人材への就職情報の提供、募集には、以下のような方法があります。留学生採用の場合は①～④、海外大学からの新卒採用の場合は①・⑤・⑥、キャリア採用の場合は①・④・⑥が主な方法になります。自社のニーズに合った方法を選びましょう。

①インターネットの活用：個々の企業のホームページ（日本語、英語）、就職情報サイト

高度外国人材が日本企業に就職する際に最も利用しています。ホームページには、国内外から応募があります。民間が提供する高度外国人材のための就職情報サイトも多数あります。

②説明会の活用：個々の会社が行う会社説明会、合同会社説明会、高度外国人材向け就職フェア

高度外国人材が日本企業に就職する際によく利用しています。高度外国人材と企業の担当者が直接情報交換、面接を行うよい機会となります。民間団体が実施する高度外国人材を対象とした就職フェアも数多くあります。

③大学の活用：日本国内の大学のキャリアセンター、インターンシップ

個別の大学と直接連携することで、より自社の求める人物像に近い人材に効率的にアプローチすることができます。また、インターンシップを活用することは、企業において高度外国人材を活用する良いきっかけとなり、企業と高度外国人材がお互いを理解したうえで、採用に結び付くものとなります。

④公的機関の活用：外国人雇用サービスセンター、ハローワーク

外国人雇用サービスセンターのような公的機関においても、高度外国人材に関する求人・求職情報の提供、雇用管理に関する相談、インターンシップに関する支援など高度外国人材の採用に関する様々な支援を行っています。

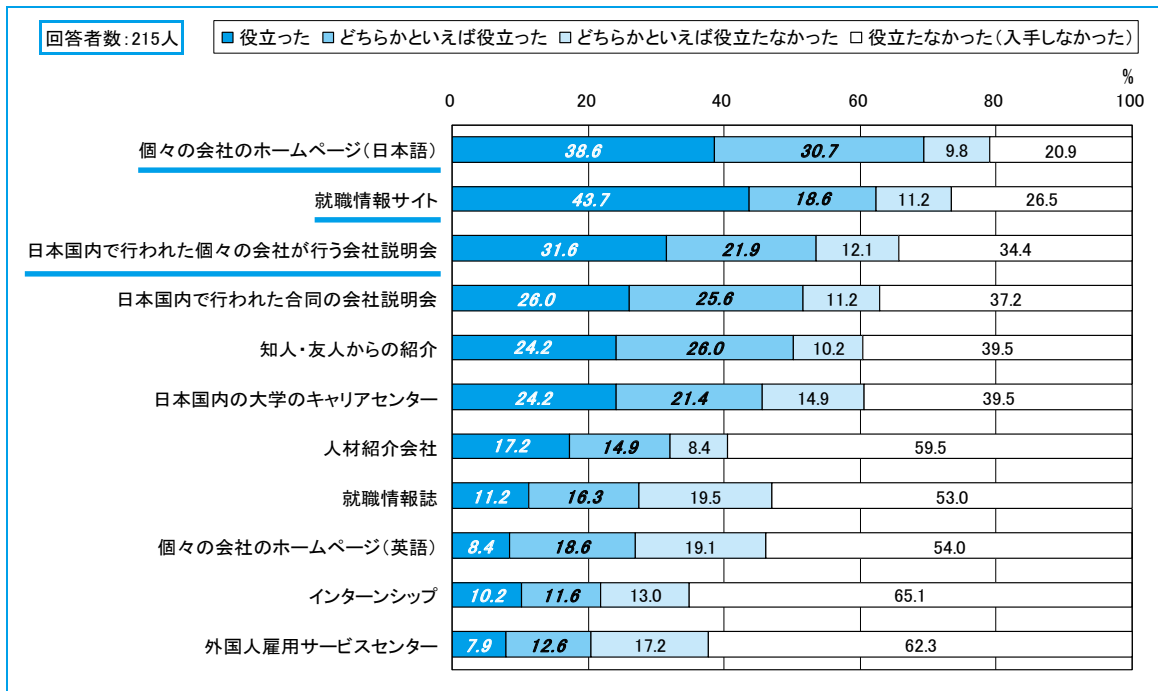
⑤海外での採用活動：海外大学へ赴いての採用活動、海外でのジョブフェア

海外の大学で、会社説明会を開催し、直接優秀な人材を採用する企業も増えています。

⑥その他：新聞の求人広告、民間の人材紹介会社

民間の人材紹介会社は有償で人材の斡旋・紹介をしています。国内外からの登録者からニーズにマッチした人材を選ぶことができます。

図表 1：求職時の情報入手経路



(高度外国人材アンケート調査結果)

(2) 成功した取り組み

初めて外国人材を採用する場合など、何から始めてよいかわからないときは、まず、公的な支援機関に相談してみることも有効です。留学生採用の場合は、大学のキャリアセンターを活用するのも有効な方法です。

ハローワーク主催の外国人留学生のための合同説明会に参加するところから外国人採用を始め、今では新卒採用の約3割を外国人留学生で採用するようになった企業もあります。公的機関のサービスもうまく活用しながら、まずはできるところから始めましょう。

なお、募集にあたっては、高度外国人材の採用実績や必要な日本語能力等を明示しましょう。特に留学生は、志望する企業に高度外国人材の採用実績があるのか、どのようなスキルを求めているのか等がわかりにくく、困っています。

<<日本企業で働く高度外国人材の声>>

高度外国人材の採用実績の明示

- ★どの企業が留学生を採用するのか分からないので、キャリアフォーラムでは一通り全てのブースを回らざるを得ない。(国内新卒採用、中国)
- ★ホームページで留学生採用の実績を出してもらえるとありがたい。(国内新卒採用、中国)

<<高度外国人材を雇用する日本企業の取り組み事例>>

- ★今までつながりのあった大学のキャリアセンターを活用して、技術系の学生を採用している。採用条件に日本語の資格の基準は設けていないが、面接時に語学力のレベルを判断する。大学との接点を持つことは、自社が求める人材に効率的にアプローチができ、採用のための時間やコストの削減にもつながっている。(中堅建設業)